

全国協議会 ニュース

2010年3月1日発行
第213号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

今年には全国協議会設立20周年

記念大会は6月5日・記念事業も企画準備中!

全国骨髄バンク推進連絡協議会は今年、設立から20周年の節目を迎えることになりました。公的骨髄バンクの設立を願って活動していた13団体が結集して全国組織となつてから20年。多くの皆様にご協力いただき、今日に至っております。

●設立20周年事業第一弾 メッセージ募集

これまでの活動を振り返り、ご協力頂いた皆様に感謝すると共に、更なる活動の発展を誓うべく、来る6月5日に東京有明医療大学(江東区有明)のHANAホールにおいて「設立20周年記念大会」を開催いたします。

これまでご支援、ご協力いただきました方々はもちろんのこと、これを機会に、さらに多くの市民の皆様に私達の活動を知っていただき、足を運んでいただけるような内容にしたいと企画中です。



また20周年記念事業としてリレー医療講演会、20周年目の同窓会、海外骨髄バンク視

念して皆様からのメッセージを募集します。

多くの企画が実現できるように、協賛も募っております。

●協賛金振込先

郵便振替口座 00150-4-15754

ゆうちょ銀行 〇一九店
当座 0015754

名義人 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会

備考欄等に「20周年協賛金」と書いていただくと助かります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



写真提供:
株式会社THINKフィットネス

も結構です。あなたがメッセージを贈ったお相手からもメッセージが届くかもしれません。みんなでメッセージを贈って大きな輪になり繋がりませんか?

皆様から寄せられたメッセージは、全国協議会のホームページ上に掲載したり、各地でのイベントで掲示させていただきます。

近日中に全国協議会ホームページからメッセージカードをダウンロードできるようないたしますので、今からメッセージを考えて待っています。……。



●ジョン・ハンラハン社長から大谷会長への目録贈呈

2008年1月から始まったチャリティイベントも今回

大谷会長の降壇後には、女子プロレスラーでもある神取忍参議院議員も駆けつけられ、「私もドナー登録しています。スポーツも格闘技も、体だけでなく、心も強くなるのが大事」と応援メッセージを頂きました。神取議員は早速ブログに報告されており、多くのファンから骨髄バンクに対する応援メッセージが寄せられています。

新しく事務局に採用された菅原光彦です。紙面を借りて自己紹介させていただきます。秋田県出身、さいたま市在住、40代後半、男、B型、獅子座、妻・娘・息子・義母の5人家族。趣味はスポーツ観戦(浦和サポーター)、映画・音楽鑑賞、飲酒、料理。子供の頃から地元の海水浴場の清掃活動等に参加し、近年では「日

1月24日、「骨髄バンクチャリティイベント FITNESS FESTA」が「ドジムスクール発表会」が東京・銀座プロッサムにて開催され、本発表会会場で募金贈呈式に大谷会長が出席いたしました。

少し早めに会場入りした会長と共に、バレエやヒップホップダンスを踊るお子さん達からボディビルで鍛えあげられた筋肉マンまで、日頃の練習の成果を最前列で拝見させて頂きました。

贈呈式では大谷会長が紹介され登壇すると、会場からはアイドルを迎えるような大きな拍手が起きました。プレゼンターは、ゴールドジム・トレーナーで全日本選手権で14度の優勝経験を持つ伝説のボディビルダー小沼敏男選手。目のやり場に困るほどの肉体系に、大谷会長も最初はちよつととまどい気味でしたが、その後のインタビュは満面の笑みで和やかに進められました。

2月4日、プルデンシャル生命東京第三支社に於いて箱根駅伝での啓発活動寄付の贈呈式が行われました。本寄付を立てての啓発活動に参加された社員・ご家族の人数に応じた額を白血病患者支援基金にくださるもので、今年で5回目になります。

三森副会長(前社長)ご自身も毎年同じ場所でのぼりを立てて駅伝応援をされているそうです。挨拶の中で、「新年からのボランティアは大変清々しく気持ちよく、我が社が先駆けとなった『骨髄ドナー給付』がその後、数社の保険会社で導入され理解の輪が業界に広がっていることも述べられました。

新しく事務局に採用された菅原光彦です。紙面を借りて自己紹介させていただきます。秋田県出身、さいたま市在住、40代後半、男、B型、獅子座、妻・娘・息子・義母の5人家族。趣味はスポーツ観戦(浦和サポーター)、映画・音楽鑑賞、飲酒、料理。子供の頃から地元の海水浴場の清掃活動等に参加し、近年では「日

韓ワールドカップ」「介護施設イベント」「グローバルフェスタ」等に参加。現在は「さいたま市青少年育成課キャンペーンカウンセラー」として活動中。某石油会社でバイオや医薬品分野の研究に携わる傍ら、労働組合活動にも参画し、産別労働組合の専従役員も経験。年々強まる「社会に活躍したい」との思いを叶えるべく、家族と相談して退職を決意。社会に活躍するチャンスを与えて頂いた今、地道に確実に役立てよう頑張りますので、皆さまのあたためたいご支援ご協力を頂きますよう、宜しくお願い致します。(求む、愛称!)

故アンディ・フグさんの想いを受け継ぎ ゴールドジムが今年もチャリティイベント

贈呈式では大谷会長が紹介され登壇すると、会場からはアイドルを迎えるような大きな拍手が起きました。プレゼンターは、ゴールドジム・トレーナーで全日本選手権で14度の優勝経験を持つ伝説のボディビルダー小沼敏男選手。目のやり場に困るほどの肉体系に、大谷会長も最初はちよつととまどい気味でしたが、その後のインタビュは満面の笑みで和やかに進められました。



●骨髄移植を受けて元気になった元患者さんのメッセージを聞く社員の方々

三森副会長(前社長)ご自身も毎年同じ場所でのぼりを立てて駅伝応援をされているそうです。挨拶の中で、「新年からのボランティアは大変清々しく気持ちよく、我が社が先駆けとなった『骨髄ドナー給付』がその後、数社の保険会社で導入され理解の輪が業界に広がっていることも述べられました。

新しく事務局に採用された菅原光彦です。紙面を借りて自己紹介させていただきます。秋田県出身、さいたま市在住、40代後半、男、B型、獅子座、妻・娘・息子・義母の5人家族。趣味はスポーツ観戦(浦和サポーター)、映画・音楽鑑賞、飲酒、料理。子供の頃から地元の海水浴場の清掃活動等に参加し、近年では「日

心からのご寄付に 感謝申し上げます

1月21日~2月20日

㈱タクトコーポレーション	現金	10,000円
㈱サカタのタネ	現金	390,382円
㈱THINKフィットネス (ゴールドジム)	現金	763,388円
ノーレート麻雀ネットワーク	ニューロン	現金 428,399円
塩谷 泰人	現金	1,000円
及川 明朗	現金	10,000円
千葉 洋和	現金	3,000円
飯島 孝枝	現金	2,240円
山田 康博	現金	9,880円
三品 雅義	現金	10,000円
鈴木 純子	現金	1,340円
青柳 年和	現金	2,000円
大友 豊子	現金	940円
塚越 友巳	切手、葉書	1,950円
塚越 友巳	書き損じ葉書	17枚
吟亭大宮店	書き損じ葉書	33枚
匿名	書き損じ葉書	8枚
匿名	書き損じ葉書	8枚
匿名	書き損じ葉書	100枚

●白血病患者支援基金
プルデンシャル生命保険(株) 現金 3,370,000円
第一生命労働組合神戸支部 現金 25,700円

●佐藤きこ子患者支援基金
竹内 智子 現金 5,000円
中谷 哲郎 現金 5,000円
(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

全国協議会事務局に新たな風 新事務局員紹介



韓ワールドカップ」「介護施設イベント」「グローバルフェスタ」等に参加。現在は「さいたま市青少年育成課キャンペーンカウンセラー」として活動中。某石油会社でバイオや医薬品分野の研究に携わる傍ら、労働組合活動にも参画し、産別労働組合の専従役員も経験。年々強まる「社会に活躍したい」との思いを叶えるべく、家族と相談して退職を決意。社会に活躍するチャンスを与えて頂いた今、地道に確実に役立てよう頑張りますので、皆さまのあたためたいご支援ご協力を頂きますよう、宜しくお願い致します。(求む、愛称!)

第32回造血細胞移植学会参加報告

2月19日、20日の二日間にわたり、静岡県浜松市においてアクトシティ浜松を中心に日本造血細胞移植学会総会が開催されました。

12の会場では、29のシンポジウム・ワークショップ、17のランチョンセミナーの他、骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会、市民公開講座が開催され、隣接する展示ホールでは2日間350件のポスター発表も行われました。

当協議会も学会の協力を得て、「白血病と言われたら」の提供や活動PRと共に、「患者とドナーのお手紙展」の展示を行いました。骨髄バンクを介して移植が行われた患者とドナーは、移植後1年のうちに2回までお手紙の交換が許されていますが、認知されていないのか、お手紙の交換

いのちだけでなく人生も救って……造血器疾患患者の不妊対策講演会開催

学会2日目の2月20日、A.P.A.R.T日本支部事務局・全国協議会の共催で「造血器疾患患者の不妊対策—精子、卵子、受精卵の凍結保存の現状」についての講演会を開催しました。

A.P.A.R.T日本支部は民間不妊治療機関の国際学術団体であり、2007年1月より所属する18の施設において、未婚女性腫瘍患者の治療後の妊孕性の温存に資する目的で、不妊治療のために開発した安全な卵子採取法、並びに高い生存率の得られる未受精卵凍結法を応用した臨床研究を行っています。既に何度か本

がなされないケースも少なくないといわれています。患者さんやご家族からのお手紙を一生の宝物や勲章のように大切にしているドナーさんや、ドナーさんからお手紙を闘病生活の支えとして大事にしている患者さんからお借りして、現場の医師や看護師の皆さんに知って頂こうと企画しました。少ない枚数の展示でしたが、足をとめて見入って下さる方も多かったです。

事務局と、自費参加の理事で、各会場のシンポジウム等を手付けして聴講、ポスター展示を見てまわりましたが、先進治療の発表・報告に、熱心な質疑がひきまきらず、医学の進歩と医療を支える関係者達の情熱を強く感じさせる二日間でした。(加藤)

学会や日本輸血学会等でも講演会を行ってききましたが、今回は、全国協議会と共に広くPRを行うことで、現場の血液内科の先生方や看護師の方のみならず、当事者である患者さんやご家族にも多数参加いただきたという事で共催事業となりました。

講演は、造血器疾患患者の不妊対策としての配偶子(精子、卵子)、受精卵凍結保存とその現状、並びに患者からの卵子採取における問題点という事で、4つの演題が設定されました。

採卵は人工受精において既に確立した技術ですが、造血

元気ですか? ありがとうサクラ

骨髄バンクを介した骨髄移植1万例、さい帯血移植5千例到達を記念して昨年早春から全国リレーで行われた「ありがとうサクラ」記念植樹。

皆さんが植えたサクラも夏には葉を茂らせ生命の力強さを伝えてくれたのではないのでしょうか。全国協議会ニュースではありがとうサクラの近況報告を募集しています。



●2009年3月植樹



●2010年2月こんなに大きくなりました。

順次お伝えしますので写真添えてご投稿ください。今回は千葉骨髄バンク推進連絡会、梅田会長からのお便りです。

またまた植樹した病院の前を通る機会がありましたので、現況もあり、今回は演題に組み込まれました。早朝からの開催にも関わらず、受付開始早々から多くの方が来場くださり、会場は聴講者であふれ、活発な質疑応答も行われました。最終的な参加者は150名と、ここ数年の本学会での開催では来場者の最も多い講演会となりました。

今回の学会ではワークショップやポスター発表等でも不妊に関する情報提供のニーズや必要性を取り上げたテーマが複数ありました。数年前までは皆無だったことを考えると、関心の広がりを感じ、「いのちだけでなく患者さんの人生をも救ってくださ」と血液内科医の先生方に訴え続けた大谷会長の想いが、ようやく芽吹いてきたよう、一足早く春を感じた浜松でした。(黒川)



昨年3月に植樹した桜を見ってきました。一回り以上も大きく育っていました!

施設内の警備員さんと話したら、院長先生から枯らすことのないようにとの指示があり、夏には毎日水をあげてい

白血病患者支援募金箱 設置先募集!

全国協議会では全国各地の骨髄バンク支援ボランティア団体と共に白血病などの血液難病と闘う患者さんを支援する活動を行っております。

こうした患者支援活動には、安定的な資金の確保が必要です。そのために「白血病患者支援」を目的として、全国協議会と各地のボランティア団体が協力して募金箱を作り、多くの皆様に善意の募金をお願いしております。設置いただいたいる店舗・企業さんは、協議会ニュースの人気コーナー「こんにちは募金箱」でその活動の様子も報告させて頂いております。募金箱設置をご検討くださる方がいらっしやいましたら、全国協議会事務局もしくはよりの加盟

てくれたそうです。大切に守ってください嬉しそうですね。植樹の際はゴボウのような細い苗木がこんなに大きくなるなんて想像もできません。 (亀田総合病院/鴨川市)

団体へ、ご連絡ください。皆様からの善意の募金は、このように使われます。全国協議会が運営する骨髄移植を受ける患者さんとそのご家族の経済的負担の軽減のための「佐藤きち子患者支援基金」の資金。

突然の発病で当惑する患者さんとその家族に、闘病に必要な様々な情報を提供する冊子や資料の作成とその配布。

患者とそのご家族のために開設する電話相談「白血病フリーダイヤル」(電話番号無料)の運営経費。骨髄バンク啓発とドナー登録推進のための様々な活動。

こんにちは募金箱 その44

イオン九州(株) ジャスコイオン九州(株) ジャスコ

宮崎店は、九州最大級のショッピングセンター、イオンモール宮崎の核として2005年5月にオープンし、5年経った現在も非常に多くのお客様で賑わっています。

オープン当初からサービスカウンターに募金箱を設置していただき、現在に到るまでお世話になっております。ジャ



スコ宮崎店さんをはじめ、募金にご協力くださる方々の思いやりに感謝です。(中村)

骨髄バンク NOW

ドナー手帳を交付することになった場合は、学会との共同発行を検討することとされました。

●骨髄バンク講演会開催を呼びかけるパンフレットを作成 骨髄バンクに関する講演会や学校の授業を推進し、ドナー経験者の方や元患者さんによる語りべ活動を展開していくためのパンフレット「骨髄バンク講演会〜いのちのメッセージを届けます〜」を作成しました。本パンフレットのお問合せは、広報渉外部までお願いします。

●日本骨髄バンクの現状(平成22年1月末現在)

	12月	1月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,816	2,708	354,777	454,593
患者登録者数	221	232	2,563	29,455
骨髄移植例数	107	87	-	11,372
20歳未満ドナー登録者	-	113	11,542 ¹⁾	-
51歳以上ドナー	300 ²⁾	90 ³⁾	17,391 ⁴⁾	-

■1月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム/771人、献血併行型集団登録会/1,830人、集団登録会/38人、その他/69人

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

(財団マンスリー JMDP (2月15日発行) より抜粋)

●末梢血幹細胞移植(PBSCT)の導入について 1月の常任理事会において、そのための診療報酬が認められた場合に来年度のPBSCTの導入方法をどうするかについて議論され、平成23年1月に最小限のシステムを整備して小規模で立ち上げ、その後拡大する方向となりました。しかし、診療報酬が認められた場合には、平成22年度のできるだけ早い時期に導入を図れるように最大限の努力をすべきであること、平成23年1月以前に手作業で実施することによって、その評価の上にシステムを導入する方がより確かな導入となること、以上の2点から、本年10月から開始できるかどうか検討をしています。この点について、2月常任理事会で審議される予定です。

●第7回「PBSCTに関する委員会」の開催

1月24日に第7回目の「PBSCTに関する委員会」が開催されました。末梢血幹細胞(以下、PBSC)の凍結について、以前の審議では、細胞数が少ないケースがあるため、一定の条件を満たせば移植施設判断で凍結を認めると

されていましたが、採取した細胞数が少なくても生着しないとはいえないという解析データが示されたことから、「原則として凍結は行わない。ただし、患者にとって最適な移植希望日とドナー・採取施設の調整が不可能な場合などにおいては、審査の上その可否を決定する」とされました。

続いて「骨髄提供・PBSC提供の選択決定方法について(ドナーの意思決定)」を再審議し、ドナーの自由意思尊重と情報を知る権利を考慮し、ドナーが患者の要望を知りたいかどうかを聞いて希望があれば伝えることが適当であるとされました。ただし、患者の要望は変わる可能性があるため、併せて両方の可能性を説明することとしました。

PBSCの運搬については、採取が2日間にわたった場合、移植施設の担当者による運搬体制を整備することには困難が伴うこともあり、安全性が認められる場合には運搬業者への委託も認めることとし、財団は運搬業者が行う運搬についてガイドラインを検討することとされました。ただし、凍結を行わない場合は、2日間それぞれ受け取りに行くか、2日目

にまとめて受け取るかは、移植施設の移植計画や体制によるため、移植施設と採取施設間で協議の上決定することが現実的であるとされました。

また、施設認定のあり方は、移植をするなら採取も行うギブ・アンド・テイクの考え方を前提とするが、将来的には施設の実情を考慮して、骨髄採取を主体とするかPBSC採取を主体とするかといった分化も検討すべきであるとされました。

さらに、「ドナー手帳の発行」および骨髄を含めた長期のフォローアップのあり方について、学会と調整を図りつつドナー安全委員会等で検討すること、